

# 「群馬県内建設系職業訓練に関する基礎調査」

## 報 告 書

平成27年6月

# 目 次

1	はじめに	1
2	調査概要	2
3	調査結果	
	（1）現状	2
	（2）訓練校運営上の課題	10
	（3）担い手対策に関する連絡会議構想について	14
	（4）自由意見	15
4	調査表	16

## 1 はじめに

この調査は、「建設産業担い手確保・育成コンソーシアム」事務局、一般財団法人建設業振興基金の「建設産業担い手確保・育成コンソーシアム平成26年度地域連携ネットワーク等構築支援」予備調査の指定を受けて実施した。

調査の目的は、群馬県内の建設産業担い手に係る関係機関の担い手育成の現状を調べ、地域ネットワーク構築の可能性を調査するものである。

ご協力いただいた建設系認定職業訓練校は次の通りである。

名称	所在地
ヤマトテクニカルスクール	前橋市江田町 30-3
テクノアウター板金技能訓練センター	沼田市町田町 248-6
前橋高等職業訓練校	前橋市石関町 122-7
桐生高等技能専門学校	桐生市相生町 5-51-10
伊勢崎佐波高等職業訓練校	伊勢崎市宮古町 1211-1
利根沼田地区高等職業訓練校	沼田市栄町 123-1
渋川地区高等職業訓練校	吉岡町下野田 1521-1
高崎建設高等職業訓練校	高崎市山名町 918-9
富岡地区高等職業訓練校	富岡市富岡 1754-1
西吾妻地区高等職業訓練校	長野原町長野原 42-2
群馬県職業能力開発協会	伊勢崎市宮子町 1211-1
日本PMC研修学校	吉岡町小倉 827-123

## 2 調査概要

- (1) 調査日 平成27年2月18日～3月5日
- (2) 調査対象 群馬県内建設系認定職業訓練校15校
- (3) 回答数 12校(回答なし2校、閉校1校)
- (4) 回答率 80.0%

## 3 調査結果

### (1) 現状

#### 1) 訓練科目・定数

12校から、報告された分野別に定数を合計すると次の通りとなった。  
( )内は、定員の合計。

建築(114名)、木工(10名)、土木(10～20名)、左官(10名)、とび(10名)、管工業(25名)、鉄筋(30名)、造園(30名)、板金(20名)、塗装(10名)、内装仕上(25名)、エクステリア(10名)

表—1 「系統・課程・科目・期間・定員・昼夜別」 4頁参照

#### 2) 入校生数

平成26年度の入校生は、12校総合計で160名報告された。  
分野別には次の通りだった。

建築(39名)・左官(3名)・とび(2名)・管工事(29名)・鉄筋(1名)・造園(53名)・板金(4名)・内装仕上(28名)

表—2 「12校のコース別入校生数」 5頁参照

#### 3) 修了者数

平成26年度の修了者数は、12校総合計で136名報告された。  
分野別には次の通りだった。

建築(25名)・とび(1名)・管工事(27名)・造園(52名)・板金(鉄骨)(4名)・内装仕上(27名)

表—3 「12校のコース別修了者数」 6頁参照

#### 4) 過去3カ年における実績

12校から過去3カ年における実績が報告された。

過去3カ年年の入校生、修了生の傾向 次頁参照

表—4 「訓練校別過去3カ年の実績」 7～9頁参照

## 過去3カ年の入校生、修了生の傾向

12校の過去3カ年の入校生、修了者数の総合計は、次の通りで、26年度に増加しているが、25年度、26年度に前橋高等職業訓練校で短期課程が新設、充実された影響が考えられる。

### 過去3カ年の12校の入校生、修了生

	入校生	対前年度(%)	修了生	対前年度(%)
24年度	52名	—	39名	—
25年度	123名	236%	121名	310%
26年度	160名	130%	136名	112%

前橋高等職業訓練校を除く11校の入校生、修了者数の総合計は、次の通りであった。

### 過去3カ年の11校の入校生、修了生（前橋高等職業訓練校を除く）

	入校生	対前年度(%)	修了生	対前年度(%)
24年度	44名	—	32名	—
25年度	53名	120%	52名	162%
26年度	59名	111%	39名	75%

表一1 「系統・課程・科目・期間・定員・昼夜別」

分野	課程	科目	期間	定員	昼夜	ヤマトテクニカール	テカリアウター板金技能訓練センター	前橋高等職業訓練校	桐生高等技能専門学校	伊勢崎波高等職業訓練校	利根沼田地区高等職業訓練校	渋川地区高等職業訓練校	高崎建設高等職業訓練校	富岡地区高等職業訓練校	西吾妻地区高等職業訓練校	群馬県職業能力開発協会	日本PMC研修学校			
建築	普通課程	木造建築科	3年	15名	昼間				○			○								
				10名	昼間						○									
				24名	夜間															
			20名	昼間	2年										○					
			10名	昼間	1年															
	短期課程	建築設計科 木造建築科 建築専攻科 建築製図科	10名	夜間					○											
			5名	夜間	2年															
			10名	昼間	6ヵ月															
			記入なし	記入なし	記入なし															
			10名	昼間	1年						○									
木工	普通課程	木工科	10名	昼間																
			10名	昼間	3年															
			10~20名	昼間	1~3ヵ月															
土木	普通課程	土木科	10名	昼間																
			10名	昼間	3年															
左官	普通課程	左官タイル施工科	10名	昼間																
			10名	昼間	2年															
とび	普通課程	とび科	10名	昼間																
			10名	夜間																
管工業	普通課程	設備施工配管科 配管科	15名	昼間																
			10名	夜間	1年															
鉄筋	普通課程	鉄筋コンクリート施工科 鉄筋施工科	30名	昼間																
			記入なし	記入なし	記入なし															
			10名	夜間	1年															
造園	短期課程	造園専攻科 造園剪定科(前期・後期) 造園研究科 ガーデニング科	10名	夜間																
			10名	夜間	72時間															
			10名	日曜日	72時間															
			記入なし	記入なし	記入なし															
			10名	記入なし	記入なし															
板金	普通課程	建築板金科 建築鉄骨・板金溶接基礎コースII	10名	昼間																
			10名	昼間	3年															
			10名	昼間	6ヵ月															
内装仕上	短期課程	内装仕上施工科	25名	日曜日																
			10名	夜間・日曜日	140時間															

表-2 「1 2校のコース別入校生数」

分野	課程	科目	期間	定員	昼夜	ヤマトテクニカール	テクノアウター板金技能訓練センター	前橋高等職業訓練校	桐生高等技能専門学校	伊勢崎波高等職業訓練校	利根沼田地区高等職業訓練校	渋川地区高等職業訓練校	高崎建設高等職業訓練校	高岡地区高等職業訓練校	西吾妻地区高等職業訓練校	群馬県職業能力開発協会	日本PMC研修学校	分野合計			
建築	普通課程	木造建築科	3年	15名	昼間							1名							39名		
				10名	昼間						3名										
				24名	夜間								6名								
			20名	昼間									5名		2名						
			10名	昼間												0名					
		1年		10名	夜間			4名													
		2年		5名	夜間										0名						
		短期課程		10名	昼間							0名									
		専修訓練課程		記入なし	記入なし	記入なし															
		普通課程		10名	昼間																
木工	普通課程		10名	昼間														0名			
土木	短期課程		10~20名	昼間																	
左官	普通課程		1~3ヵ月	昼間																	
とび	普通課程		3年	10名	昼間																
	普通課程		2年	10名	昼間																
	普通課程		2年	10名	夜間																
管工業	普通課程		1年	15名	昼間																
	普通課程		1年	10名	夜間																
鉄筋	普通課程		2年	30名	昼間																
	記入なし		記入なし	記入なし	記入なし																
	普通課程		1年	10名	夜間																
	普通課程		72時間	10名	夜間																
造園	短期課程		72時間	10名	日曜日																
	普通課程		記入なし	記入なし	記入なし																
	普通課程		記入なし	記入なし	記入なし																
	普通課程		3年	10名	昼間																
板金	普通課程		3年	10名	昼間																
板金(鉄骨)	短期課程		6ヵ月	10名	昼間		4名														
塗装	普通課程		3年	10名	昼間																
内装仕上	短期課程		30時間	25名	日曜日																
エクステリア	短期課程		140時間	10名	夜間・日曜日																
																		合計 160名			

表-3 「12校のコース別修了者数」

分野	課程	科目	期間	定員	昼夜	ヤマトテクニカール	テクノアワード一板金技能訓練センター	前橋高等職業訓練校	桐生高等技能専門学校	伊勢崎波高等職業訓練校	利根沼田地区高等職業訓練校	渋川地区高等職業訓練校	高崎建設高等職業訓練校	富岡地区高等職業訓練校	西吾妻地区高等職業訓練校	群馬県職業能力開発協会	日本PMC研修学校	分野合計			
建築	普通課程	木造建築科	3年	15名	昼間							0名							25名		
				10名	昼間						1名							0名			
						24名	夜間					0名									
				2年		20名	昼間							0名		1名					
				1年		10名	昼間														
		短期課程	建築設計科 木造建築科 建築専攻科 建築製図科	2年	5名	夜間			2名												
	6ヵ月			10名	昼間						0名										
	記入なし			記入なし	記入なし																
	1年			10名	昼間						2名										
	3年			10名	昼間																
木工	普通課程	木工科	1~3ヵ月	10~20名	昼間														0名		
			3年	10名	昼間															0名	
土木	普通課程	土木科	3年	10名	昼間														0名		
																				左官 左官タイル施工科	
とび	普通課程	とび科	2年	10名	昼間					0名									1名		
																				管工業 設備施工配管科	
管工業	普通課程	配管科	1年	15名	昼間															27名	
			1年	10名	夜間			22名													
鉄筋	普通課程	鉄筋コンクリート施工科	2年	30名	昼間							0名							0名		
																				記入なし	記入なし
造園	普通課程	造園科	1年	10名	夜間			10名												0名	
																					造園専攻科
																					造園専攻科(前期・後期)
																					造園剪定科(前期・後期)
																					造園研究科
普通課程	造園科	72時間	10名	夜間																52名	
																					ガーデニング科
板金	普通課程	建築板金科	3年	10名	昼間							0名								0名	
																					建築業鉄骨・板金溶接基礎コースII
塗装	普通課程	建築塗装	3年	10名	昼間															0名	
																					内装仕上施工科
エクステリア	短期課程	エクステリア科	140時間	10名	夜間・日曜日															0名	
																					合計

表-4 「訓練校別過去3カ年の実績」

○ヤマトテクニカルスクール

年度	科目		入校生	修了者
24年度	普通課程	設備施工系配管科	19名	18名
25年度	普通課程	設備施工系配管科	24名	23名
26年度	普通課程	設備施工系配管科	22名	22名

○テクノアウター板金技能訓練センター

年度	科目		入校生	修了者
24年度	短期課程	建築業鉄骨・板金溶接基礎コースⅡ	3名	2名
25年度	短期課程	建築業鉄骨・板金溶接基礎コースⅡ	4名	2名
26年度	短期課程	建築業鉄骨・板金溶接基礎コースⅡ	4名	4名

○前橋高等職業訓練校

年度	科目		入校生	修了者
24年度	普通課程	木造建築科	1名	1名
		造園科	7名	6名
25年度	普通課程	木造建築科	1名	1名
		造園家	9名	8名
	短期課程	多能工育性科	13名	13名
		ガーデニング科	20名	20名
		建築専攻科	10名	10名
26年度	普通課程	造園専攻科	17名	17名
		木造建築科	4名	2名
	短期課程	造園科	11名	10名
		内装仕上施工科	28名	27名
		ガーデニング科	11名	11名
		造園専攻科	5名	5名
		造園剪定科	13名	13名
建築専攻科	16名	16名		
造園研究科	13名	13名		

○桐生高等技能専門校

年度	科目		(備考)	入校生	修了者
24年度	普通課程	木造建築科	(訓練生 8名)	1名	4名
	専修訓練課程	建築製図科	( " 0名)	0名	0名
25年度	普通課程	木造建築科	( " 4名)	1名	2名
	専修訓練課程	建築製図科	( " 7名)	7名	7名
26年度	普通課程	木造建築科	( " 5名)	3名	1名 (見込み)
	専修訓練課程	建築製図科	( " 2名)	2名	2名

○伊勢崎・佐波高等職業訓練校

年度	科目		入校生	修了者
24年度	普通課程	木造建築科	0名	0名
		とび科	1名	0名
		配管科	0名	0名
25年度	普通課程	木造建築科	0名	0名
		とび科	1名	0名
		配管科	0名	0名
26年度	普通課程	木造建築科	6名	0名
		とび科	2名	0名
		配管科	7名	5名

○利根沼田地区高等職業訓練校

年度	科目		入校生	修了者
24年度	普通課程	木造建築科	2名	1名
25年度	普通課程	木造建築科	4名	1名
26年度	普通課程	木造建築科	5名	0名

○渋川地区高等職業訓練校

年度	科目		入校生	修了者
24年度	普通課程	木造建築科	1名	0名
		左官タイル施工科	1名	0名
		建築板金科	1名	0名
		とび科	4名	1名
		鉄筋コンクリート施工科	2名	3名
		配管	1名	0名
25年度	普通課程	木造建築科	2名	2名
		建築板金科	3名	1名
		とび科	1名	1名
		鉄筋コンクリート施工科	1名	2名
		左官タイル施工科	0名	4名
		配管	0名	1名
26年度	普通課程	木造建築科	1名	0名
		左官タイル施工科	3名	0名
		建築板金科	1名	0名
		鉄筋コンクリート施工科	1名	0名
		とび科	0名	1名

○高崎建設高等職業訓練校

年度	科目		入校生	修了者
24年度	普通課程	木造建築科	5名	0名
25年度	普通課程	木造建築科	1名	4名
26年度	普通課程	木造建築科	2名	1名

○富岡地区高等職業訓練校

年度	科目		入校生	修了者
24年度	普通課程	木造建築科	0名	0名
		建築設計科	0名	3名
25年度	普通課程	木造建築科	0名	0名
		建築設計科	4名	0名
26年度	普通課程	木造建築科	0名	0名
		建築設計科	0名	3名

○西吾妻地区高等職業訓練校

年度	科目		入校生	修了者
24年度	普通課程	木造建築科	1名	0名
25年度	普通課程	木造建築科	0名	0名
26年度	普通課程	木造建築科	0名	0名※

※（24年度入校生は26年9月末都合により退校）

○群馬県職業能力開発協会

年度	科目		入校生	修了者
24年度	短期課程	鉄筋施工科	休止	
		鉄筋施工科	休止	
25年度	短期課程	鉄筋施工科	休止	
		鉄筋施工科	休止	
26年度	短期課程	鉄筋施工科	休止	
		鉄筋施工科	休止	

○日本PMC研修学校

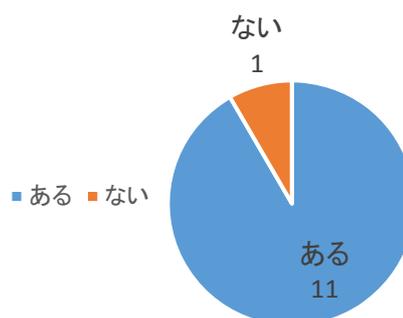
年度	科目	入校生	修了者
24年度	実績なし		
25年度			
26年度			

## (2) 訓練校運営上の課題

12校中11校が課題「ある」と回答

図一1 学校の運営上の課題の有無

Q4 学校の運営上の課題の有無



### 1) 課題の内容と重要度、緊急性

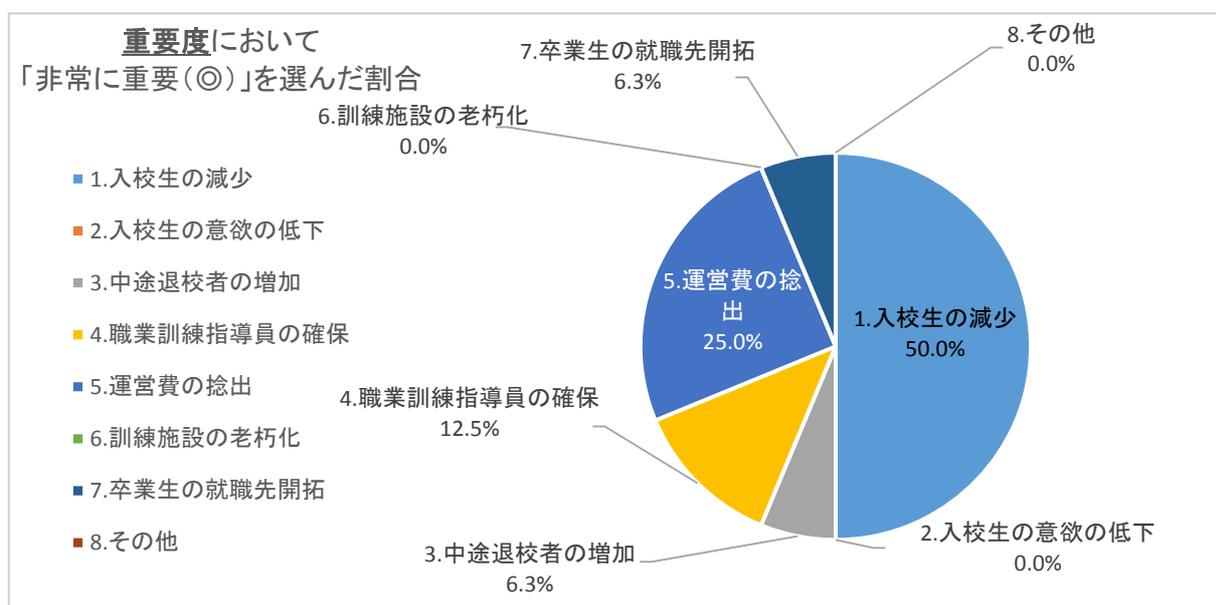
#### 【重要度について】

◇「非常に重要 (◎)」

11校中8校が、「入校生の減少」を選択

11校中4校が、「運営費のねん出」を選択

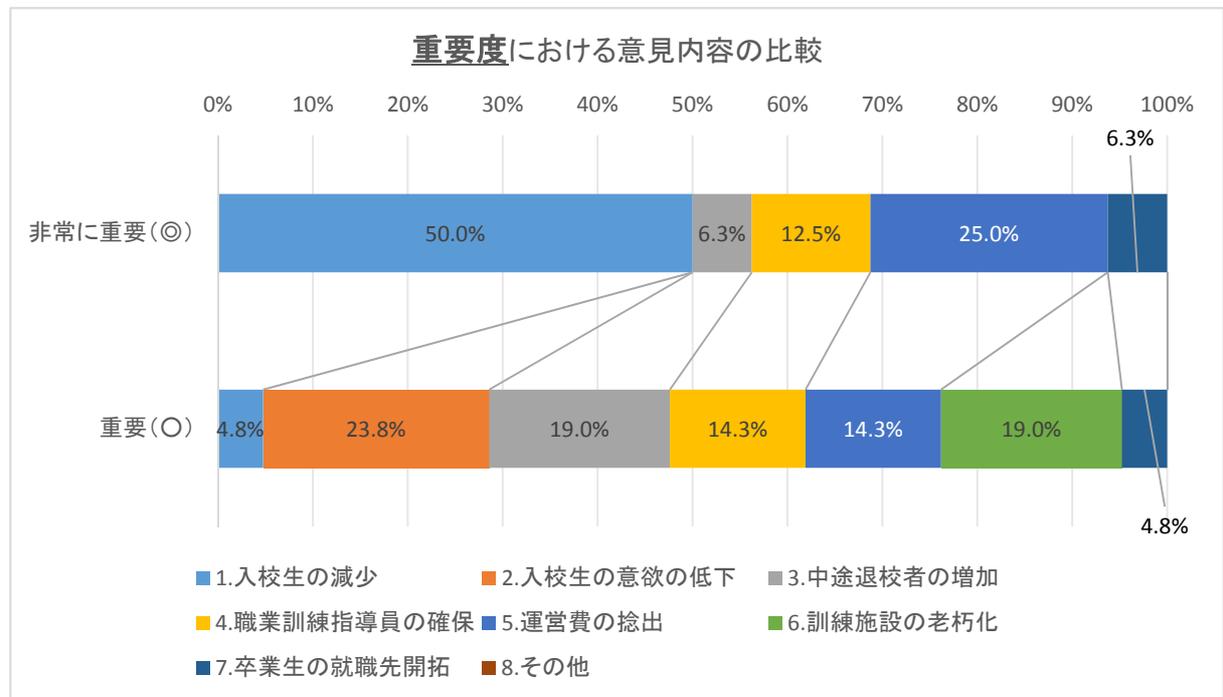
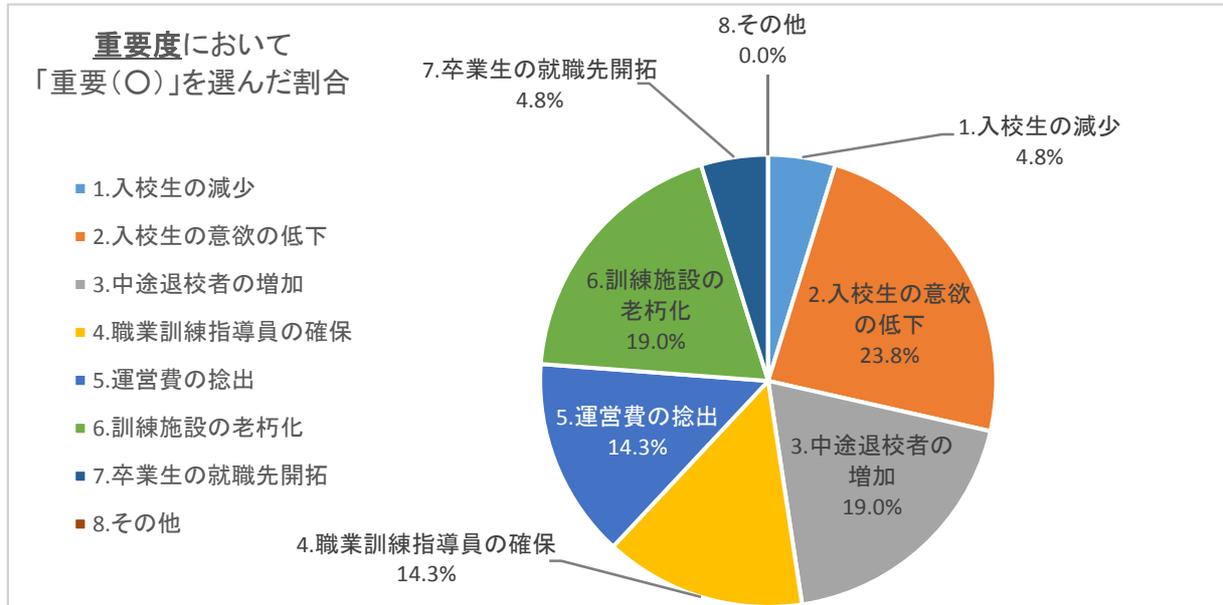
重要度	◎非常に重要	○重要
1. 入校生の減少	8	1
2. 入校生の意欲の低下	0	5
3. 中途退校者の増加	1	4
4. 職業訓練指導員の確保	2	3
5. 運営費の捻出	4	3
6. 訓練施設の老朽化	0	4
7. 卒業生の就職先開拓	1	1
8. その他	0	0



◇「重要（○）」

1 1校中5校が、「入校生の意欲の低下」を選択

1 1校中4校が、「中途退校者の増加」及び「訓練施設の老朽化」を選択



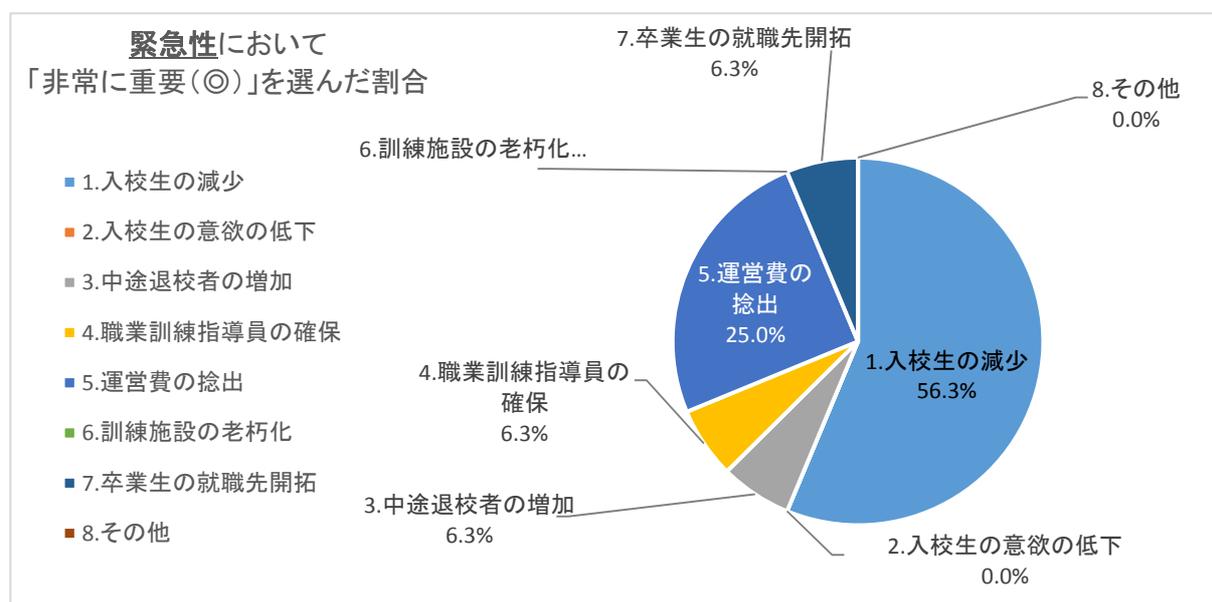
## 【緊急性について】

◇「非常に重要（◎）」

1 1 校中 9 校が、「入校生の減少」を選択

1 1 校中 4 校が、「運営費の捻出」を選択

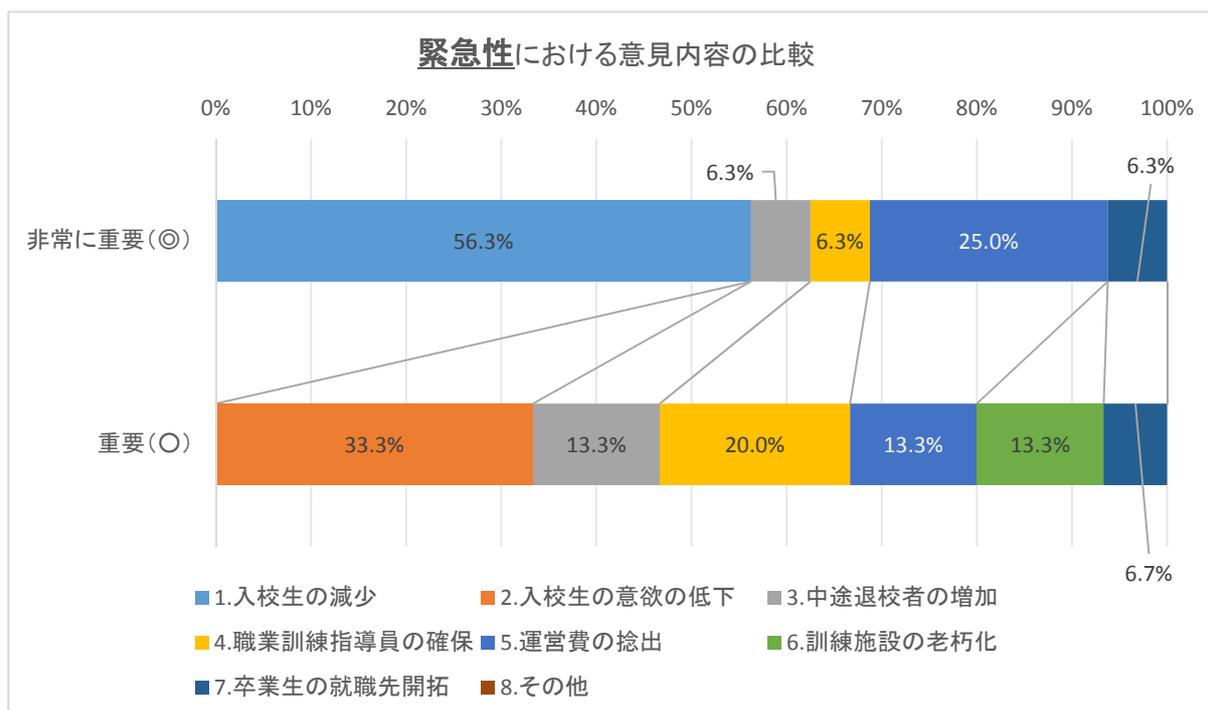
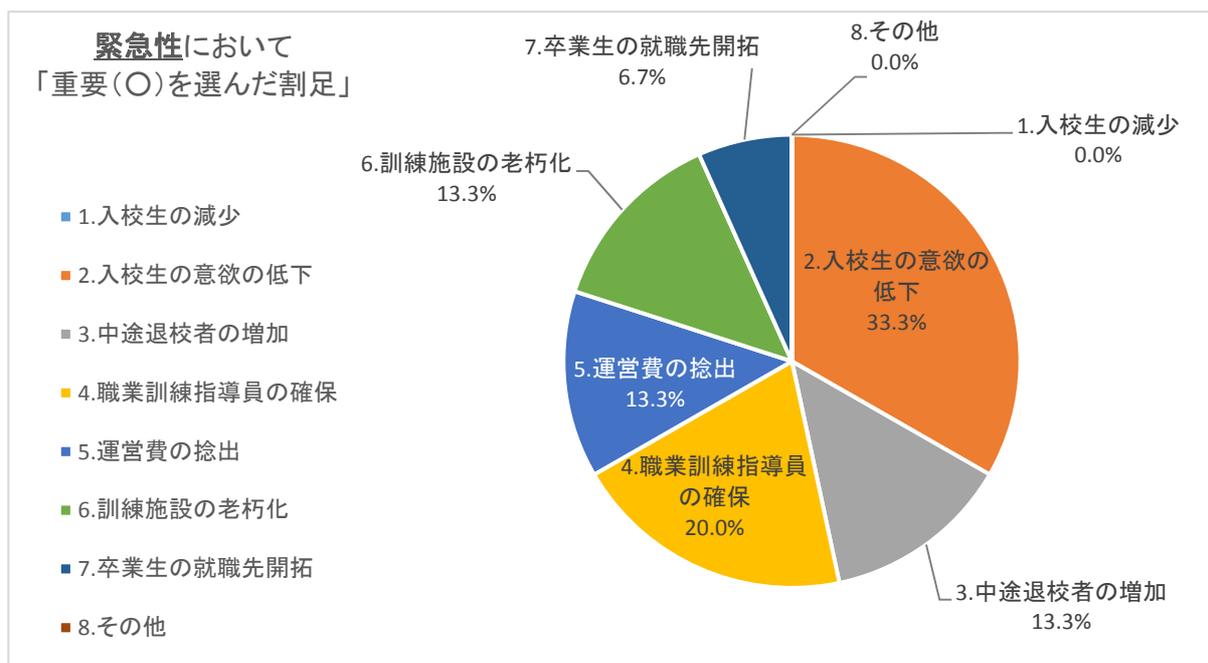
緊急性	◎非常に重要	○重要
1. 入校生の減少	9	0
2. 入校生の意欲の低下	0	5
3. 中途退校者の増加	1	2
4. 職業訓練指導員の確保	1	3
5. 運営費の捻出	4	2
6. 訓練施設の老朽化	0	2
7. 卒業生の就職先開拓	1	1
8. その他	0	0



◇「重要（○）」

1 1校中5校が、「入校生の意欲の低下」を選択

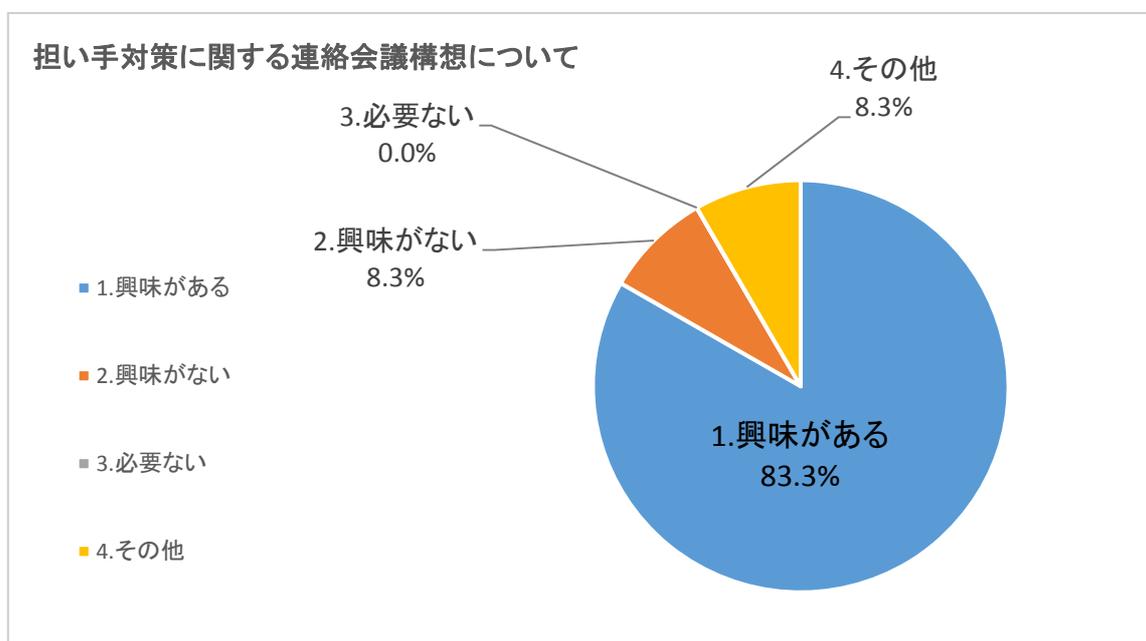
1 1校中3校が、「職業訓練指導員の確保」を選択



### (3) 担い手対策に関する連絡会議構想について

10校が「興味がある」を選択

	回答数	割合
1.興味がある	10	83.3%
2.興味がない	1	8.3%
3.必要ない	0	0.0%
4.その他※	1	8.3%



※その他の意見（「4. その他」を選択した回答者とは別の回答者による意見）

- ・当協会が厚生労働省から委託を受けている若年技能者人材育成支援等事業に群馬県、群馬労働局、県内の市町村、経済団体、労働団体等をメンバーとした連携会議を設置することとなっているので、建設業協会様にメンバーになっていただくことを検討している。（群馬県の産業状況、意見等を参考に、事業のPR、ニーズの把握や事業の円滑な実施を目指しているため。）

## (4) 自由意見

### ○担い手対策について

- ・ 作業員の高齢化が進んでいますので若手労働者の育成が重要になってきています。
- ・ 技能者を養成する為にも、事業内訓練と並んで各高校卒業者が直接入校できるようになれば入校生の減少に歯止めが掛かり、技能の向上又建設会社等の戦力になるのではと思います。学校から内定した会社へ認定校の案内を送って頂く。
- ・ 需要、供給のバランスが非常に悪く、急に忙しくなったり、全く暇になったりで将来の展望が掴みにくい。この国の政治家の無策ぶりには希望が見いだせないが、これらの政治家を選んだのは国民である。
- ・ 賃金体系を確立し仕事量確保のための値崩れを防ぐよう努力する。
- ・ 小中学生及び高校生を対象とした「木工教室」、「職人講座」を開催し、技能者発掘の糸口にするとともに、関係団体の連携強化が重要と考えます。
- ・ 就労環境の悪化等により若年入職者が減少しているため、技能労働者の処遇を改善し、技能の向上のインセンティブを与えるとともに、若年者の入職促進を図るため、技能に見合った処偶が受けられ、多様な キャリアパスの実現が可能な魅力ある就労環境づくりが必要であると考えます。
- ・ 建設業の担い手の高齢化。

### ○建設業団体に対する要望、提言

- ・ 建設業界が若い人にとって、より魅力的な職業に映るよう努力する必要があると思います。
- ・ 建設業界の週休二日制の徹底、労務単価の引き上げも大切ですが、今の若年者は休日に対しても要望していると思います。
- ・ 各団体の機関との連携をたもち、情報の提供をお願いしたいです。
- ・ 木造建築技術世界一の技を国内だけでなく、広く海外に活用できる環境づくりを国家事業として取り上げてほしい。
- ・ 群馬県建設業協会へのお願い
  - ①マスコットキャラクター「ぐんケンくん」の支部への貸し出し用ぬいぐるみを製作し市町村及び能力開発協会等で実施するイベント（訓練校行事・技能祭・木工教室・道の駅等）に参加させる。
  - ②建物の規模により市町村内の建築は市町村内の業者の下請けも規模により市町村内の大工を優先させるよう働きかける。
- ・ 社会保険未加入対策を進め、元請企業に対しては下請企業の加入状況の確認と未加入企業への指導等を求める必要があると考える。

#### 4 調査表

### 群馬県内建設系職業訓練に関する基礎調査表

Q 1 貴校の名称、ご回答者のお名前等をご記入ください。

貴校の名称	ご回答者	
	お名前	
	所属・役職	
	電話番号	

Q 2 貴校の訓練科目等をお教えてください。

科 目	期 間	定 員	昼・夜別
(例) 普通課程 木造建築科	1年	20名	夜間

Q 3 貴校の過去3か年の実績をお教えてください。

年度	科 目	入校生数	修了者数	備 考
24年度	(例) 普通課程 木造建築科	10名	9名	
25年度				
26年度				

26年度の修了者数には、「修了見込み」も加えてください。

Q 4 貴校の運営上の課題の有無とその重要度と緊急性をお教えてください。

1. 課題は無い。
2. 課題がある。
3. その他 ( )

Q 4-2 「2. 課題がある」を選択された場合、その重要度と緊急性をお教えてください。

重要度、緊急性の ( ) 内に、該当する丸印をご記入ください。

重要度： ◎：非常に重要      ○：重要  
緊急性： ◎：非常に緊急      ○：緊急性有

課 題	重要度	緊急性
1. 入校生の減少	( )	( )
2. 入校生の意欲の低下	( )	( )
3. 中途退校者の増加	( )	( )
4. 職業訓練指導員の確保	( )	( )
5. 運営費のねん出	( )	( )
6. 訓練施設の老朽化	( )	( )
7. 卒業生の就職先開拓	( )	( )
8. その他 ( )	( )	( )
9. その他 ( )	( )	( )

Q 5 建設業の担い手対策に関する連絡会議構想について

建設業の担い手対策について関係機関で意見交換して互いの認識を深めるため、建設業団体、建設系高等学校、職業訓練校等による建設業の担い手対策に関する連絡会議構想があります。この構想についてどうお考えですか？

1. 興味（関心）がある。
2. 興味（関心）がない。
3. 必要ない
4. その他 ( )





ぐんけんくん

一般社団法人群馬県建設業協会  
〒371-0846 群馬県前橋市元総社町 2-5-3  
TEL 027-252-1666 FAX 027-252-1993  
HP <http://www.gun-ken.or.jp/>